「ありがとう」…今はただ、この一言に尽きます

真面目にこつこつと働いて私達を育ててくれた父。まっすぐな気性ゆえ厳しい面もありましたが、根は家族思いの優しい人でした。戦争という辛い経験を乗り越え、激しく移り変わる時代の荒波にも決してのまれず、ぐっと足を踏ん張って家族を守ってくれた父がいたからこそ、今日という日があるのだと、感謝の念は尽きません。

頑張って長生きして、孫やひ孫の代まで家族の歩みを見守ってくれたこと。親として最後の最後まで強い背中を見せてくれたこと。子供の頃に叱られた記憶すら今は懐かしい思い出となり、在りし日を偲べば、父という存在の大きさ、有り難さが改めて身にしみてなりません。別れは辛く、涙が込み上げますが、この父のもとに生まれ育ててもらったことこそ幸せだったと、今はただ「ありがとう」の一言を伝えたく思います。

父●●●●●は、平成二十●年●月●●日、享年●●●歳にて生涯をとじました。

皆様より多くのご厚情を賜り、実りある人生をまっとうさせて頂いた父に代わり深く感謝申し上げます。本日はご会葬いただき、誠に有難うございました。略儀ながら書状にてお礼申し上げます。

平成二十●年●月●●日（通夜）
平成二十●年●月●●日（葬儀）

喪主　●●●●

親戚一同

尚 本日は何かと混雑に取紛れ不行き届きの段
悪しからずご容赦下さいます様お願い申し上げます

㈱かとう　謹製